

赤穂青年会議所中期的目標策定のためのアンケート

報 告 書

平成 2 4 年 4 月

赤 穂 青 年 会 議 所
理 事 長 山 本 昌 紀
5 0 周 年 準 備 室
室 長 橋 本 太 志

はじめに

我々赤穂青年会議所は来年に創立50周年という節目の年を迎えます。我々は「明るい豊かなまちづくり」を実現するために日々活動を行っており、そしてその時代ごとに応じた活動と運動を行うための「中期ビジョン計画」を5年ごとに策定して参りました。

現在、私たちを取り巻く社会情勢の閉そく感・不安感はかつて経験したことがないものでしょう。それを打破するために今、足りないものは未来に対する夢や希望ではないのでしょうか。そして私たちの住む赤穂の明るい未来を考えた時に、子どもたちの存在は欠かすことができません。

そこで今回、現状を把握し今後我々の進むべき道を指し示すための調査として、小学校4・5・6年生またその御家族を対象にしたアンケートを実施いたしました。この調査で得られた結果は目標策定のための基礎資料として十分に活用させていただきます。

本調査にご協力頂きました皆様には厚くお礼申し上げます。

- 調査期間 平成24年2月15日(水)～29日(水)
- 調査対象 市内小学4・5・6年生とその御家族
- 配布回収方法 市内各小学校に依頼
- 配布数 子ども・家族 各1,484通
- 回収数 子ども 1,300通(回収率 87.6%)
家 族 1,286通(回収率 86.7%)

- 報告書の集計表は、以下のように処理している。

回答率(%)は小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%とまらない場合がある。

- 個人情報について

本アンケートで知れた個人情報は、収集時に明記・通知した目的においてのみ使用することを原則と致します。赤穂青年会議所が責任を持って適切な管理を行うとともに、外部への不正流出防止に努めて参ります。



子どもアンケート



あなたについて質問します。あてはまる答えに○をつけてください。

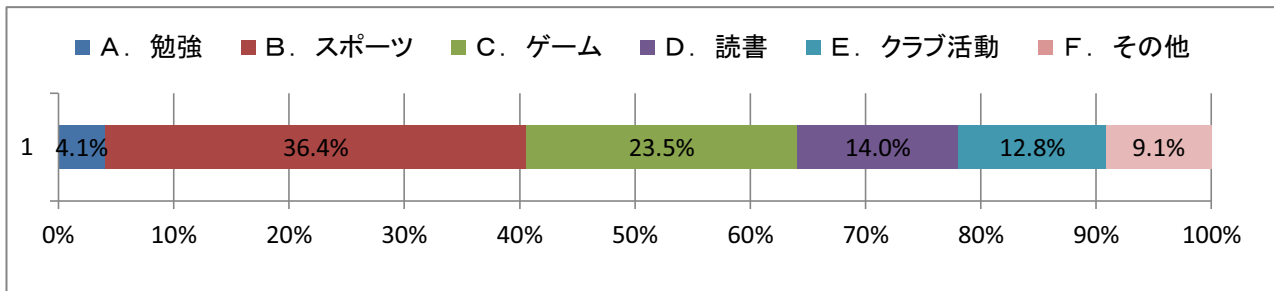
1 回答数

	4年	5年	6年	
男児	189	195	227	
女児	219	230	240	
合計	408	425	467	1300

回答率 87.6%

2 あなたが好きなことはなんですか？ひとつ答えてください。

あてはまる答えがない場合は、F. その他 に○をしてカッコの中に書いてください。

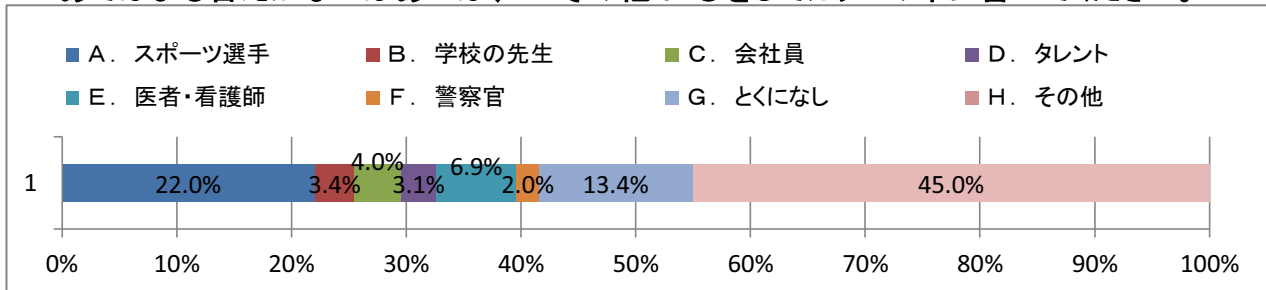


男児にはB.スポーツが多かった。

F.その他の回答には「絵を描く」「友達と遊ぶ」などがあつた。

3 あなたの夢はなんですか？ひとつ答えてください。

あてはまる答えがない場合は、H. その他 に○をしてカッコの中に書いてください。



男児ではA. スポーツ選手が多かった。

女児はH. その他が多くパティシエや保育士・漫画家などが多い

G. とくになし は全体の13.4%強を占めたが、理由としてまだ決めれない、分からないが大半を占め漠然としてでも夢を持っている子どもがほとんどだった。

4 そのためになにか習い事やがんばっていることはありますか？ひとつ答えてください。

A. ある 56.6%

B. 今はない 43.4%

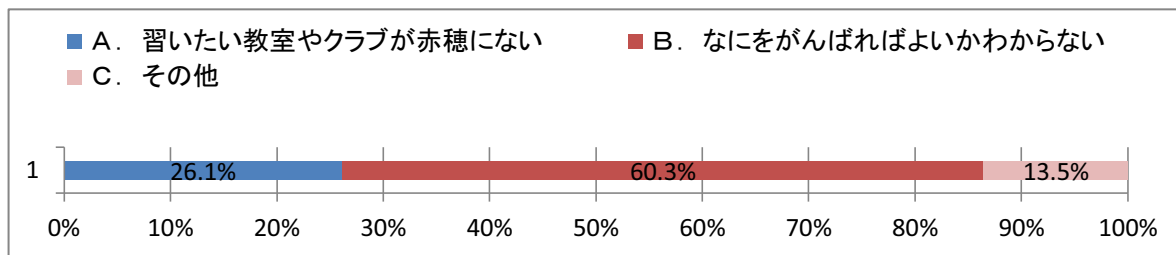
過半数の子どもが夢のために教室や塾に通っていた。

5 しつもん4で「ある」と答えたかたにお聞きします。

あなたは、なにをがんばっていますか？四角のなかに書いてください。

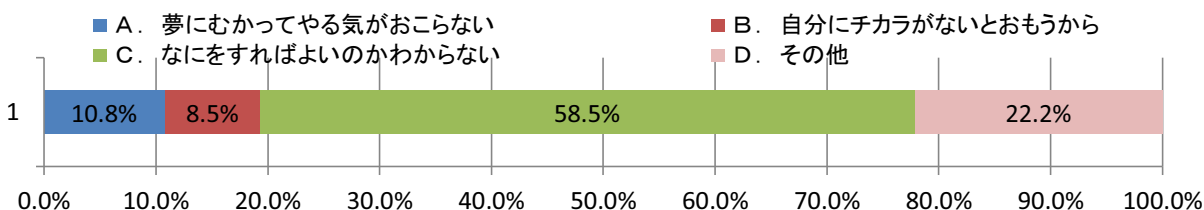
- ・サッカークラブに通っている
- ・料理の手伝いをしている
- ・医者になる為に勉強している

6 「今はない」と答えたかたにお聞きします。
 あなたはなぜそう答えたのですか？ひとつ教えてください。
 あてはまる答えがない場合は、C. その他 に○をしてカッコの中に書いてください。



「B.なにをがんばればよいかわからない」が約6割を占めた。

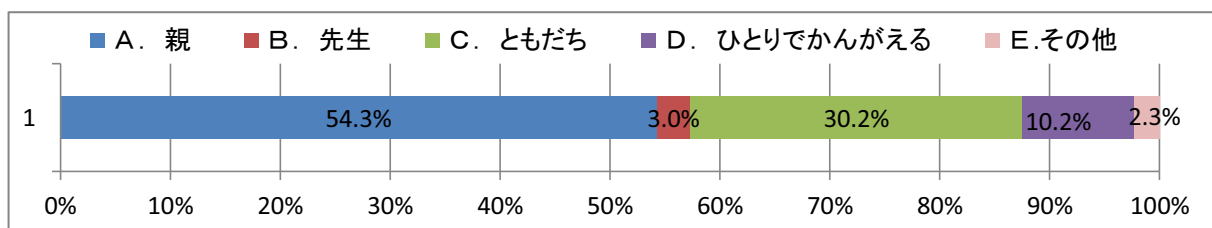
7 しつもん3で G. とくになし と答えたかたにお聞きします。
 あなたがないと思った理由はなんですか？ひとつ教えてください。
 あてはまる答えがない場合は、D. その他 に○をしてカッコの中に書いてください。



しつもん3にて、「G.とくになし」と答えた約13%の子どもうち「C.なにをすればよいかわからない」と答えた子どもが約6割おり、主に夢が決まってないからまだ分からないといった傾向がみられる。

「A.やる気がおこらない」といった無気力な子どもが10.8%、「B.自分にチカラがない」といった自信のない子どもも8.5%いたことが悲しく感じる。

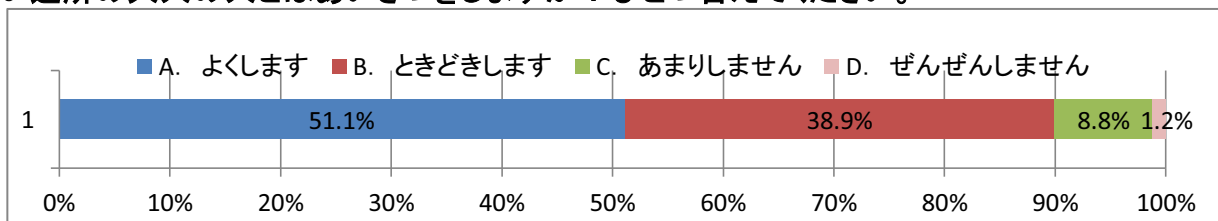
8 こまったことがあった時、1番にだれに相談しますか？ひとつ教えてください。
 あてはまる答えがない場合は、E. その他 に○をしてカッコの中に書いてください。



やはりA. 親 に相談する子どもが過半数を超えた。
 高学年になるほどC. ともだち の割合が増えた。
 E. その他 は祖父母や兄弟など家族が多い。

「D. ひとりで考える」子どもが3割いるが、自立した考えを持っているのであれば良いが、周りの人との「つながり」が稀薄であれば問題かもしれない。

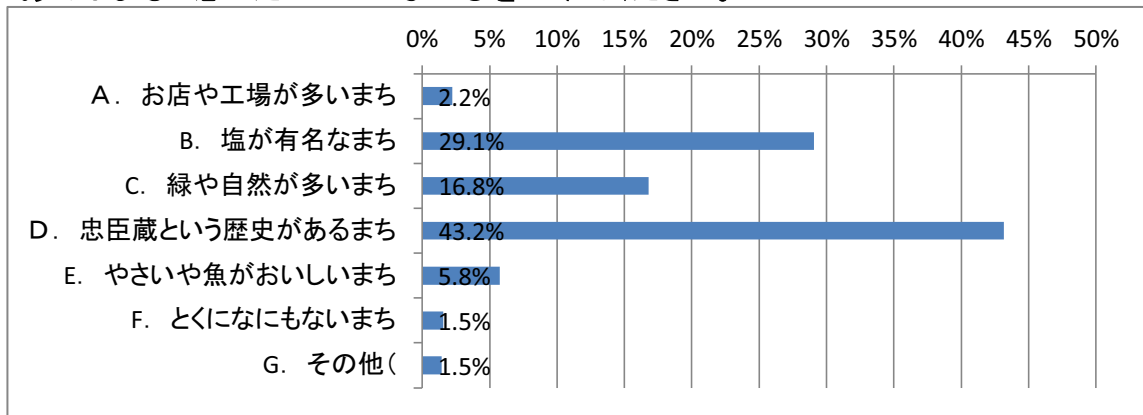
9 近所の大人の人とはあいさつをしますか？ひとつ教えてください。



ほとんどの子どもが近所の大人と挨拶すると答えた。

赤穂にたいして

10 赤穂のまちを他の人に紹介したい(じまんしたい)ことは何ですか？ あてはまると思ったことぜんぶに○をつけてください。

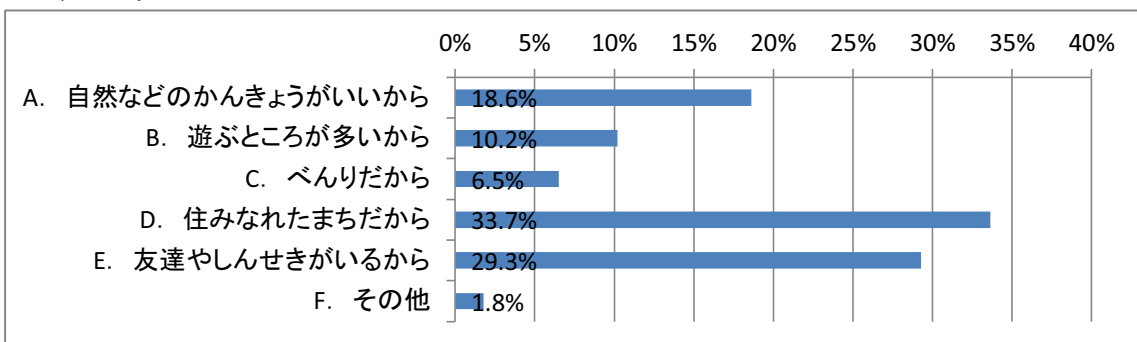


B. 塩が有名 が約3割
D. 忠臣蔵 が4割を超えた。

やはり赤穂といえば「塩」「忠臣蔵」が一番に思い浮かべるようだ。

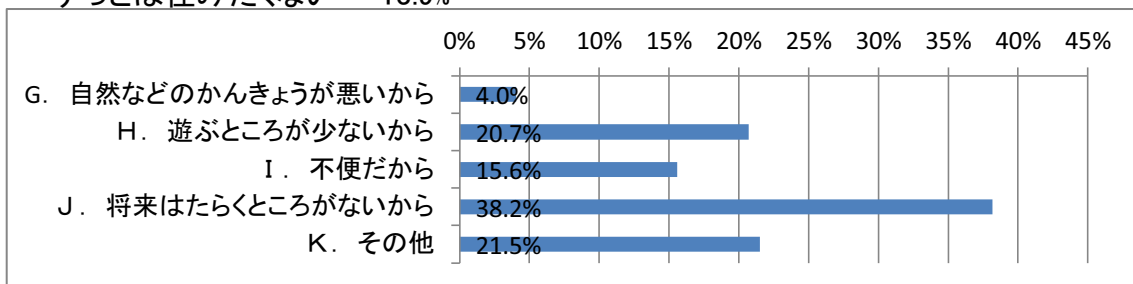
11 このまちに

ずっと住んでいたい 86.1%



「D.住みなれたまち」「E.友達やしんせきがいるから」が多く、人とのつながりやその土地とのつながりがいわゆる郷土愛をもたらしているのかもしれない。

ずっとは住みたくない 13.9%



「J.将来はたらくところがないから」が最も多い理由だが、それを選んだ子どもたちの夢の多くが「サッカー選手」などのプロのスポーツ選手や世界をまたにかけける職業を選んでいて。

「K.その他」では「他のまち(都会など)に住んでみたい」といった、好奇心やあこがれをもった回答が多かった。

このしつもんは、家族アンケート 質問9とほぼ設問内容が同じなので比較してみても面白い。

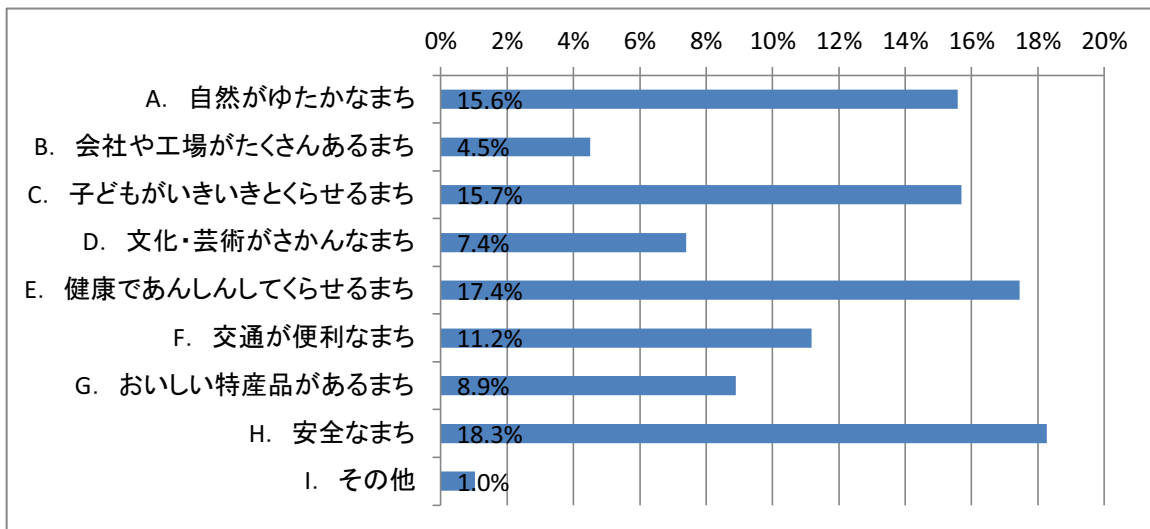
12 このまちにあったらいいなと思うものはなんですか？四角のなかに書いてください。

「遊園地」「動物園」といった娯楽施設、「大きなお店」「デパート」といった商業施設が多かった。

また、サッカーが好きな子どもは「サッカースタジアム」など自分に身近なものを上げていた。

「みんながやさしいまち」「ころろが通じあえるまち」といった精神的な豊かさを求める回答もあった。

13 おとなになったとき、どんなまちになってほしいですか？
あてはまると思ったことぜんぶに○をつけてください。



「H.安全なまち」が一番多く約19%の回答率があった。

これは学校や自治体などで常に子どもの安全に気を配っていることに子どもたち自身も理解しており、危機意識の高さがうかがえるが、安全なまちでないと思っていることの裏返しではないだろうか？

また、3. 11の震災の様な自然災害の事についても意識が高いのかも知れない。

このしつもんも家族アンケート11と質問内容がほぼ同じなので比較してみることが出来る。

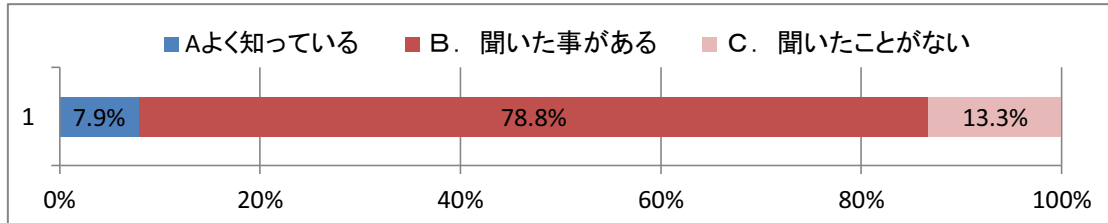
家族アンケート

ご家族の代表の方、おひとりに質問します。

- 1 回答数 女性 1,096名 男性 190名 合計 1,286名
回答率 86.7%

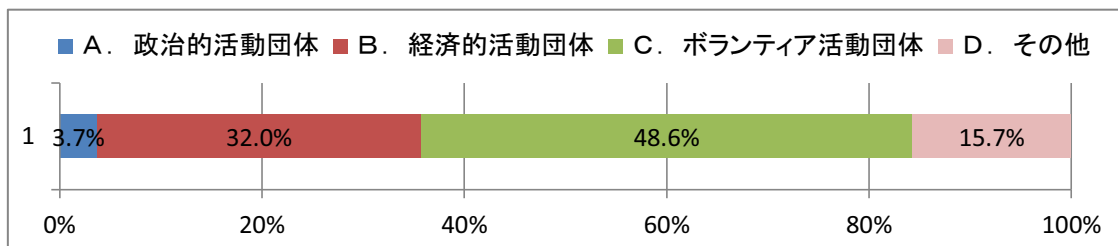
赤穂青年会議所について

- 2 あなたは赤穂青年会議所という組織を？



約9割の方が「知っている」もしくは「聞いた事がある」と答えた。

- 3 赤穂青年会議所という組織はどのような団体だと思いますか？
あてはまる答えがない場合、D. その他にご記入ください。

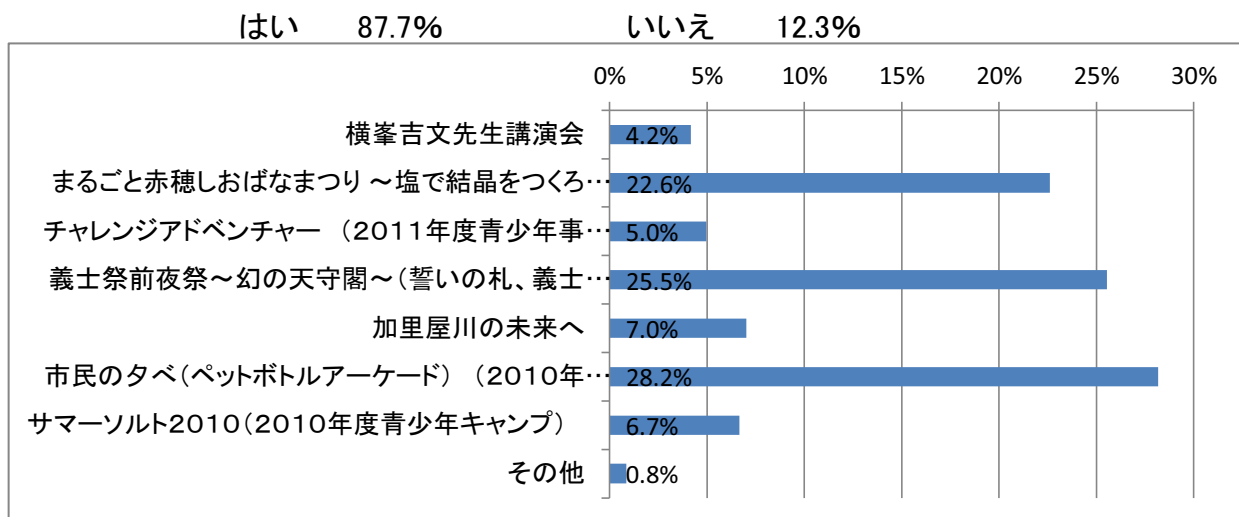


「C.ボランティア団体」として半数近くの方に認識して頂いている。

「D.その他」の大多数は「分からない」が多かった。

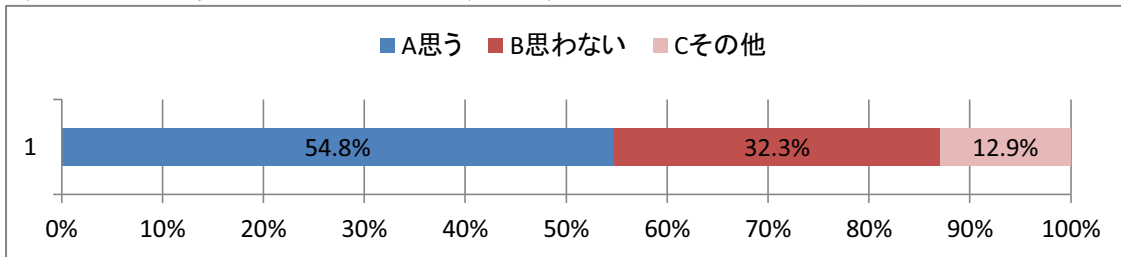
赤穂青年会議所は、毎年いくつかの市民参加型事業を行っています。

- 4 下記またはその他の事業についてご存知でしたか？
「はい」と答えた方はご存知の事業もお答えください。（複数回答可）
あてはまる答えがない場合、H. その他にご記入ください。



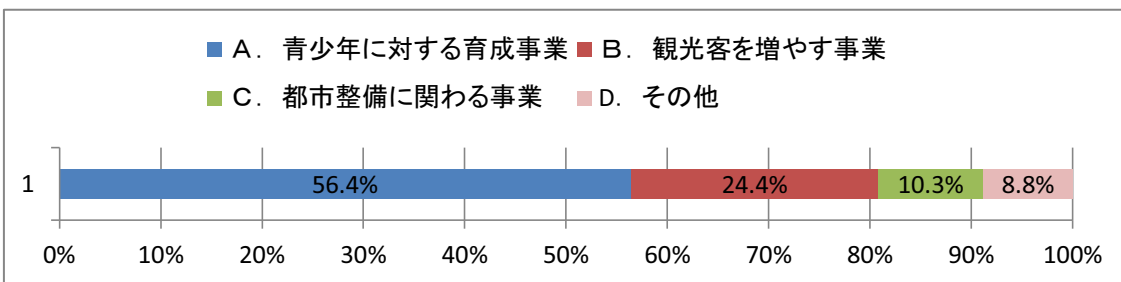
やはり市民の方の多くが目にするイベントの認知度が高かった。

5 今後も当青年会議所の事業に参加したい・させたいと思いますか？
 其他のご意見がございましたら、C. その他にご記入ください。



「A. 思う」が過半数をこえたが「B. 思わない」方が約3割おられることを真摯に受け止めなければならない。
 「C. その他」の中には「時間があえば」など肯定的な意見も多かったが、「何をしているのかわからない」といった意見もあり、「もっとアピールしてほしい」といった意見もあった。

6 青年会議所の事業で何を望みますか？
 あてはまる答えがない場合、D. その他にご記入ください。

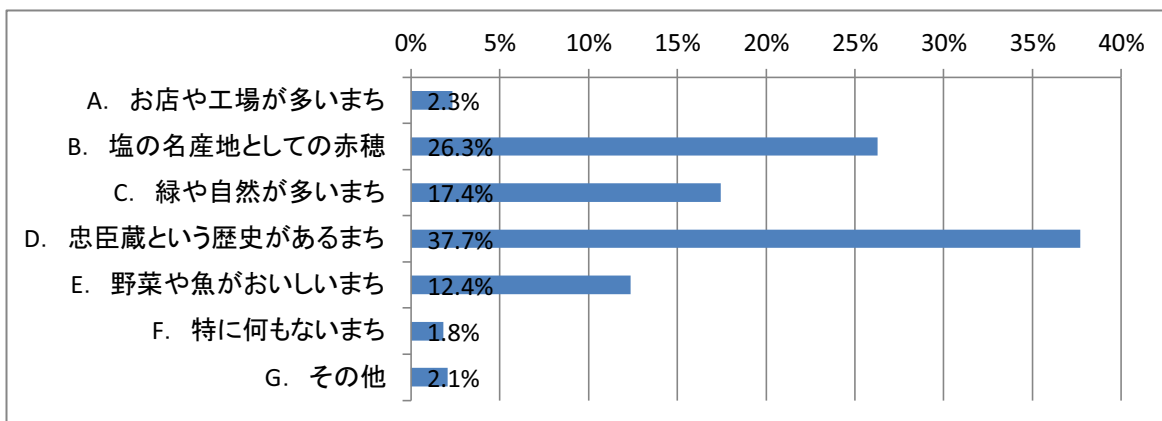


対象が小学生高学年の子どもがいる家族へのアンケートなので「A. 青少年育成事業」がやはり多かった。

「C. 都市整備に関わる事業」は加里屋川に関する事業を行っているためか、赤穂地区で多かった

赤穂についてお聞きします。

7 赤穂のまちを市外の方に紹介または、誇らしくできることはありますか？（複数回答可）
 あてはまる答えがない場合、G. その他にご記入ください。



子どもアンケートしつもん9 と同じ質問内容ですが、やはり「B. 塩の名産地」「D. 忠臣蔵」といった回答が多くを占めた。
 しかし「E. 野菜や魚がおいしいまち」も多く、回答者が女性が多かったのもその特色がでた。

「G. その他」では「牡蠣がおいしい」といった意見があった。

8 いまの赤穂には何が足りないと思いますか？下の空欄にご記入ください。

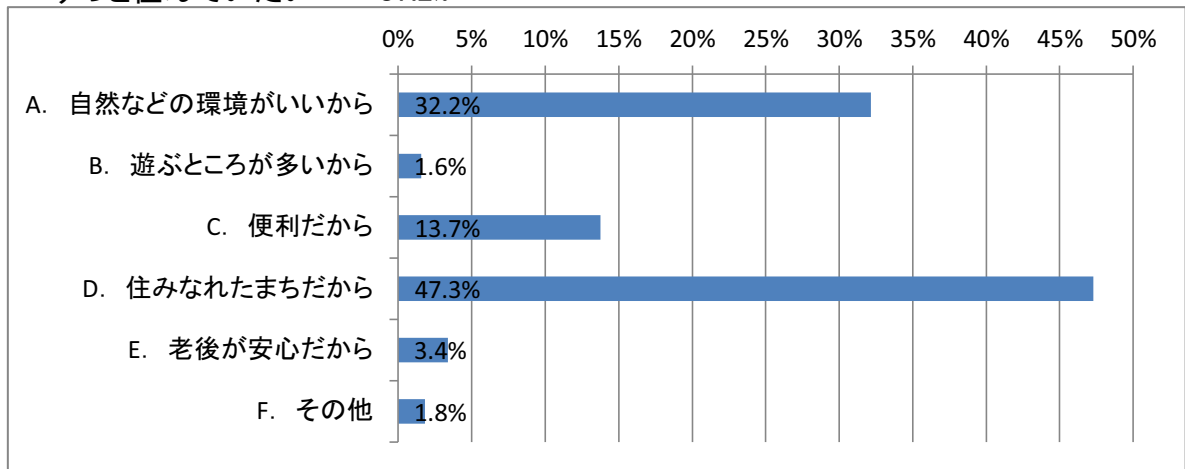
もっとも多かった意見として「活気」があげられる。
・「なんでもあるが中途半端。もっと活気が欲しい」といった意見が多かった。

また坂越トンネルの開通や市バスなどの交通の利便性についての意見や、新たな観光資源の開発を行い、もっと赤穂をアピールしてほしいとの意見も多い。

他には「学校」や「福祉関係の充実」などが上げられた。

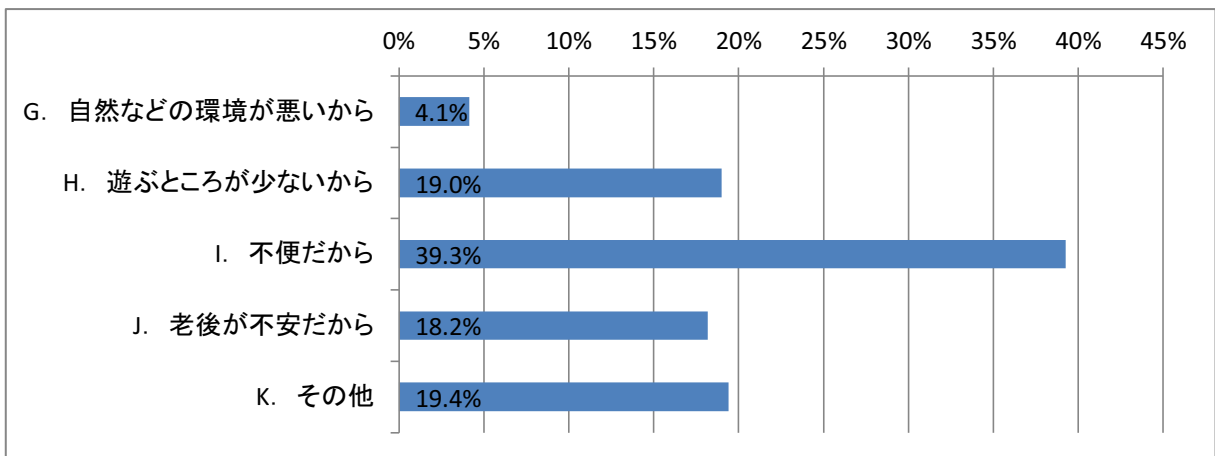
9 このまちに

ずっと住んでいたい 87.2%



「D.住みなれたまちだから」が約半数近くを占め、子どもアンケートと同じようになった。

ずっとは住みたくない 12.8%



「I.不便だから」は質問8の意見でも出たように交通・商業施設の不足から出ているのかも知れない。
また、「H.遊ぶところが少ない」をあげた人のほとんどが「I.不便だから」も上げていた。

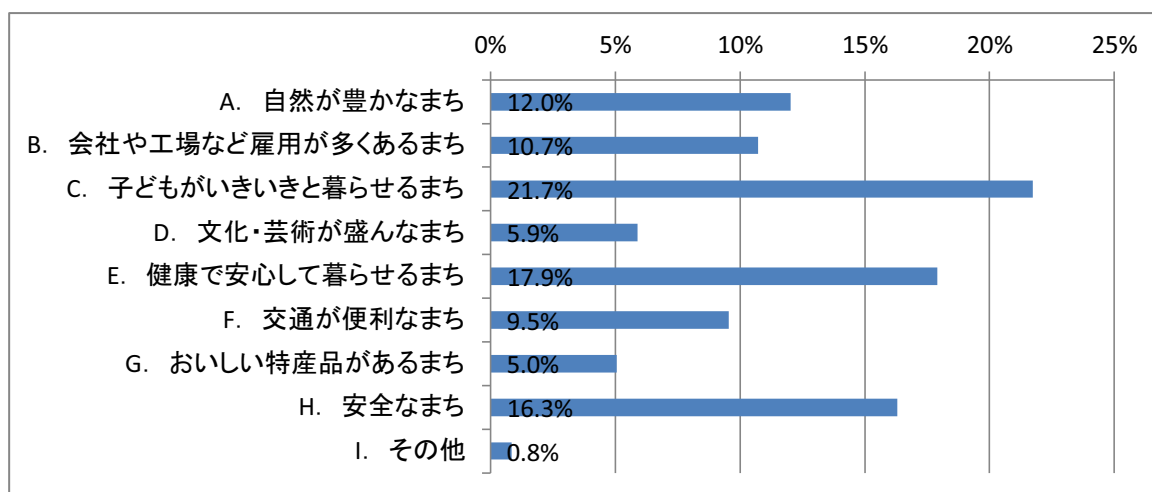
10 あなたが考える赤穂のまちとは何ですか？下の空欄にご記入ください。

- ・今に満足することなく、変革しようとする活力がみなぎるまちになってほしい。
- ・特徴のある歴史的なまち
- ・閉鎖的でなく、みんなにやさしいまち
- ・自然が豊かで住みやすいまち
- ・アートやスポーツなど忠臣蔵に頼らないで新しい視点での観光に繋がるまち

などそれぞれが考えるこれからの赤穂のまちに対する意見が多かった。

- ・「嫁に来てホッとするまち・・・第二の故郷です」といったうれしい意見もあった。

11 今後赤穂のまちは、どのようなまちになってほしいですか？（複数回答可）
あてはまる答えがない場合、H. その他にご記入ください。



やはり子どもを持つ家族を対象にしているので「C.子どもがいきいきと暮らせるまち」が最も多かった。

「E.健康で安心して暮らせるまち」と「H.安全なまち」は区別しにくかったのかもしれない。大人の多くが「H.安全なまち」に関しては自然災害が少ないことを上げていた。